



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第28号

発行日
平成19年6月1日

◇ 目 次 ◇

P2 平成19年度定期総会	P8 自然観察会（早春、おおの）
P3 西自然保護官プロフィール	P9 初夏の観察会、不思議な動物
P4 三年ぶり新入会員 生物多様性国家戦略について	P10,11 新入会員紹介（2）
P5 平成18年度活動記録	P12 ミヤジマトンボ生息地清掃
P6、7 新入会員紹介（1）	P13 解説「国家戦略」、編集後記



コウヤマキ「高野槇」

岩船岳の頂上付近、乾燥した岩盤の間には平成18年9月6日に誕生した秋篠宮悠仁親王のお印として有名になった「コウヤマキ」が逞しく生育している。

コウヤマキは高野山に多く産する日本特産のスギ科の常緑高木で高さ40mにもなる。木材は腐り難いところから桶・船材・橋梁材に利用されているが、樹皮は「まいはだ」と称し水槽・船などの隙間に押し込み水漏れ防止の材料として使われている。

また樹形は美しく逞しい、葉っぱには気品が漂っていることからヒマラヤシーダー、ナンヨウスギと共に世界の三大庭園樹と言われている。（写真・文）中道 勉

広島事務所へ西さん赴任

環境省人事（関係分）4月1日付
西 大輔 熊野自然保護官事務所
→広島事務所自然保護官

PVの会平成19年度総会 活動計画決まる

PVの会では4月7日(土)宮島支所会議室に於いて平成19年度定期総会を開催しました。出席会員47名(新入会員18名が加わり、会員総数59名)委任状提出者は5名でした。

(出席者) 足立 池下 池田 井上 岩崎 小方ペア 小川 奥田 川崎 北野 五石 小林
ペア 佐伯 佐藤 佐渡 坂本 島 新川 末原 竹内 田中 坪井 富田 中道 中本
名越 西 野呂田 平田 佛崎 古川 文理 前田(正) 弁田 松田 丸平 宮崎 村上
森 柳瀬 矢吹 山坂 横山 横路 六重部

環境省中国四国地方事務所(岡山)高見課長補佐 広島事務所 田中自然保護官

定刻10:30分に開会、出席者の自己紹介のあと、村上会長から「18名の新会員加入、マ
ンネリ化せず新進の心を持ち毎年良い年に
したい。会員の宮島への思いとPV会の目的の
調和をはかり、楽しく社会にも役立つ活動に
努めたい」と開会挨拶。

岡山より出席の高見課長補佐より最近の環
境行政・宮島のシカ対策・ミヤジマトンボ保
護・瀬戸内海モニタリング調査などについて
話を聞く。

次に出席者数、委任状提出者数の確認を行
い、進行役足立副会長から 総会成立の旨が
宣言され議事に入った。

◎総会議事(議長 村上会長)

幹事会原案のとおり、次の4議案につき
個々に報告、審議がなされ、前向きな意見は
出されたもののいずれも特に異議無く承認

(総会決議)されました。

- ア、平成18年度活動状況について
- イ、決算(案)〃
- 野呂田監査役から 適正の監査報告
- ウ、平成19年度活動計画(案)について
各部会長から説明
- エ、予算(案)について



総会出席者の記念撮影・支所前

意見等……セブン・イレブン助成金、研修参加旅費の援助、他との連携協力についてなど。田中保護官より4/1付人事異動にて西保護官の着任、新会員登録証についてなど説明。

◎その他

末原……堰堤工事の終了と大聖院登山ルートの引き続きの立ち入り禁止の報告。

足立……新入会員の所属部会の申請、アンケートの提出要請。

中道……「錫杖の梅」保存会の活動協力要請。

井上……「桜」樹勢実態調査の概略報告。

◎総会後の活動

午前中に総会を終了し、新しく作った揃いのベストを着て記念撮影。午後からは恒例により環境整備部会主催の「みなきり浜」清掃を行う。毎年の清掃にも拘わらず、流木、発泡スチロールや缶、ビン等が打ち上げられ、ハンゲショウやハマゴウなど貴重な植物が埋もれてしまっている状況は例年通り。今年は増強された40余名のPVのパワーにてテキパキと終了。流木は、ほぼ完全に撤去。今年も新入会員の加わった、このパワーで総会で決まった活動に新たな気持ちで取り組んでいけることでしょう。 (岩崎 義一)



セブン・イレブンみどりの基金
PVの会への助成決定

瀬戸内海国立公園宮島の環境保全整備に対してこのほど、セブン・イレブンみどりの基金助成が決まりました。

助成金額 384,000円

本年度計画している入浜池汽水化復活整備、樹木名板制作費に充当予定です。

西 自然保護官プロフィール

氏名 西 大輔 (だいすけ)

出身地 徳島県三好郡

東みよし町

家族 妻、子と三人暮

らしです。結婚して

からは岡山→兵庫

県竹野町→和歌山

県新宮市→広島市

と3回引越しして

います。



経歴 平成10年4月環境庁入庁。

北関東地区自然保護・野生生物事務所

勤務。その後、長崎県雲仙、岡山県、兵

庫県、和歌山県と各地国立公園に勤務。

平成19年4月環境省中国四国地方環境事務所広島事務所自然保護官

趣味 スノーケル、磯遊び、山登りです。

この冬から持病の腰痛が悪化し、山登りのペースは落ちています。

子どもが2歳とまだ小さいので、ここしばらくは、一緒に磯遊びやスノーケルを楽しみたいと思っています。

ひとこと 岡山に勤務していたときに何度も宮島へは仕事で来ていました。その自然は瀬戸内の島では白眉だと思います。また、こちらへ来てから、ミヤジマトンボのようなすごい生き物が、ここにいることを改めて知りました。

活動の中で汗をかき、悩まれることもあるかと思いますが、パークボランティアはまず楽しむことが第一だと思います。島の美しい姿を将来へ引き継ぐように、また、皆さんと楽しく活動できるように頑張ってゆきたいと思っています。よろしくお願いします。

アクティブ・レンジャー

1月から環境省広島事務所に藤本 輝男さんが自然保護官補佐（アクティブ・レンジャー）として駐在されており、今後のPV活動にも随時参加される予定です。

三年ぶり18名の新入会員 会員総数59名に

昨年9月環境省広島事務所が募集した新規パークボランティアについては、ほぼ半年の研修を終え、4月正式に会員登録されました。

新登録会員は18名で在籍会員と合わせて総数59名となり、平成12年にPVの会設立以来過去最高となりました。

在籍会員(41名)の内訳

設立時(12年)からの会員28名

平成14年入会	7名
平成16年入会	6名

新入会者名(所属部会)は次の通り。

大成 健太郎(環境整備) 尾川 健(観察)
 奥田 克江(環境整備) 川崎 昭壽(環境整備)
 北野 孝幸(観察) 五石 勉(広報)
 河野 浩一(観察) 小林 扱(観察)
 小林 みどり(観察) 佐伯 宣雄(環境整備)
 坂本 俊弘(観察) 渋谷 精二(環境整備)
 田中 敏子(環境整備) 富田 和子(広報)

文理 一男(環境整備) 松田 賢(観察)

山形 妙子(広報) 山坂 健治(観察)

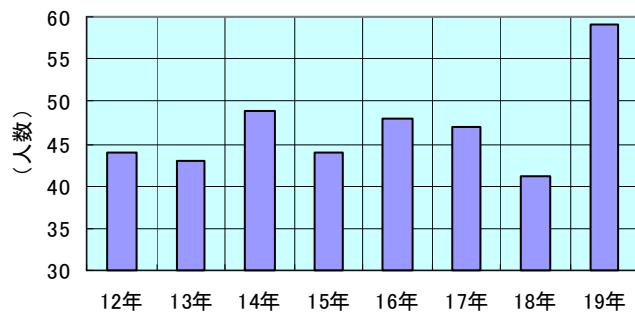
(P6,7,10,11に自己紹介文掲載)

所属部会 観察部会 8名

環境整備部会 7名

広報部会 3名

PV会員数推移



生物多様性国家戦略について

PV 小川

私は今まで生物多様性国家戦略(以下、国家戦略)について知らなかつたが、2年前からミヤジマトンボ保護活動に参加して生物多様性の重要さを考えるようになり、環境省から案内があった「国家戦略の見直しに係わる説明会」に出席した。(国家戦略についてはP13に解説記事)

現在、今秋予定の第3次国家戦略策定にむけ見直し作業中で、今年3月それについて意見募集があり全国から157件の応募があった。

これらの意見発表を含む地方説明会が4月に全国8会場で開催され、私は岡山市で傍聴した。(4/18、自費参加)

岡山会場は中四国地方から提出された6件のうち5件の意見発表があり、他地方と比較



して意見数は少ないが当日の参加者数は52名と3番目に多かったので市民の関心は高い。

説明会は、①環境省生物多様性地球戦略企画室の亀澤室長より概要説明、②大学教授やNGOで研究・ボランティア活動等をしている人5名の意見発表、③環境省、発表者、傍聴者の意見交換という流れであった。①の亀澤室長の岡山勤務時には宮島PVも直接お世話になったことがある。②、③では多方面の人の話が聞け参考になった。地球温暖化についての話題も出て、いっそう危機感を覚え、愛媛大学の日鷹准教授から身近な動植物にも少しづつ変化が現れているのでその観察記録は大切だと話があった。PVの会としても「記録の保存」は緊要課題である。

今回、生物多様性国家戦略について多くの人が真剣に考えていることが分かったし、今後はこの国家戦略が何より優先されるべきものであることを多くの人に理解してもらえるようなPV活動をしていきたいと思った。

平成18年度PV活動記録

平成18年4月～19年3月

	開催日	行 事	参加人数	備 考
総会等	4/8 (土)	平成18年度定期総会	34	小なきり浜清掃
	12/2 (土)	臨時総会「役員改選」・研修会	32	日赤、山田指導員
観察部会	5/7 (日)	公募観察会・新緑植物（室浜）	21	下見4/29 16名
	10/29 (日)	〃 自然と歴史探訪（鷹ノ巣）	17	下見10/19
	11/23 (祝)	〃 歴史文化（山辺の小径）	11	
	H19 3/25 (日)	〃 早春の植物観察（大元）	16	下見3/17
	5/14 から3回	入浜淡水池生き物調査・測量他	延39	11/5, 19 2/25
	6/10 (土)	阿多田島の自然観察	14	宮島植物との違い
	8/26 (土)	盛夏の植物観察・大川浦・大川越	14	
	9/23 (祝)	弥山・ハチクマの渡り観察	11	
	H19 4/1 (日)	植物観察（バイカオオレンなど）	8	おおの自然観察の森
環境整備部会	5/20 (土)	鷹ノ巣砲台跡清掃、整備	15	
	7/15 (土)	包ヶ浦海岸清掃	18	
	8/6 (日)	自然公園クリーンデー	20	
	9/2 (土)	名板取り付け作業・保守点検	12	
	10/14 (土)	紅葉谷公園内の歩道補修清掃	16	研修生14名参加
	H19 3/10 (土)	岩船岳登頂・植物観察会	16	元広大 豊原先生
その他	9/9, 10他2回	J P R活動支援	延11	9/30 10/1 10/21, 22
	10/7 (土)	海岸清掃大作戦（入浜・腰細浦）	16	産廃協会に協力
	2/22、3/4、3/6	ミヤジマトンボ生息地整備、清掃	延43	3回

※入浜の自然調査（18年度）のまとめは次号に掲載

入浜自然調査結果（水質）	2006/11/05調査測定					2006/05/14調査測定					2007/02/25調査測定				
	地点	水温(℃)	pH	COD(ppm)	塩分濃度(%)	水温(℃)	pH	COD(ppm)	塩分濃度(%)	水温(℃)	pH	COD(ppm)	塩分濃度(%)		
A	15.8	7	7	0.01	20.1	6	7	測定ナシ	*	*	*	*	*		
B	15.6	7	8+	0.01	16.6	6	4	測定ナシ	5.9	8.3	18	0.04			
C	18.8	6	8+	0	14.3	6	*	測定ナシ	*	*	*	*	*		
C'	14.4	5.5	8+	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
C	*	*	*	*	*	*	*	*	6.7	8.5	18	0.03			
D	15.9	5.5	8+	0	18.8	5.5	7	測定ナシ	*	*	*	*	*		
D	*	*	*	*	*	*	*	*	7.1	8.6	18	0.04			
E	16.9	7	8+	0.01	18.8	5.5	7	測定ナシ	*	*	*	*	*		
E	*	*	*	*	*	*	*	*	8.1	8.5	18	0.03			
F	17.5	*	8	測定ナシ	18.1	5	5	測定ナシ	*	*	*	*	*		
F	*	*	*	*	*	*	*	*	7.8	8.5	18	0.04			
海水	22.3	*	3	2.4	*	*	*	測定ナシ	*	*	*	*	*		
備考 * CODの測定結果に+印がついているのは、試薬の測定範囲を超えていたため測定値は8以上を示す。（再度測定の要あり）												* CODの試薬を測定範囲の広いもので行った。			
*測定点は、入浜周辺図中の池の範囲を示す点線の周辺に設定した。					*11月は入浜池の水量が減少し、5月の測定点に水がなかったため、水のあるところまで内側に移動して測定した。					*渴水と海水路の遮断のため、池水が図のB-C-D-E-Fの範囲まで後退していたため、測定点も内側に変更した。					

新入会員紹介

(受付順)

平成19年4月入会(1)

佐伯 宣雄 環境整備部会

- ①廿日市市 O型
- ②岩国市、北海道
- ③自然と日本の遺産を守る
- ④岩国吉川藩の古文書修復
- ⑤海外旅行
- ⑥中国・四川省の黄龍の山
(4,500m)
- ⑧「女性は生む機械」発言
- ⑨タダ・安い・もらう
(嫌いな言葉 高い・やる・おごる)



川崎 昭壽 環境整備部会

- ①廿日市市佐方 A型
- ②高松市、現住所に35年で最長
- ③定年後の社会貢献
- ⑤歩くこと
- ⑥富士山
- ⑦四国遍路で受けた接待の心
- ⑧どこまで行ってもゴミの山、人のモラルの低下はひどい
- ⑨行雲流水



北野 孝幸 観察部会

- ①広島市佐伯区 AB型
- ②下関市、広島市・大阪枚方市・岡山備前市
- ③宮島の自然を知り、地球温暖化の現状が知りたくて
- ④広島植物公園のガイドボランティア
- ⑤登山、車中泊すること
- ⑥奥穂高岳、槍ヶ岳 etc



◇自己紹介◇アンケート

- ①現在住んでいる所、血液型
- ②出身地、今までに長く住んだ所
- ③P.Vに応募した動機
- ④他にボランティア活動していますか？
- ⑤趣味、特技など
- ⑥今までに登った一番高い山は？
- ⑦最近何か感動したことがありますか？
- ⑧最近憤慨していることがありますか？
- ⑨好きな言葉
- ⑩その他自己PRなどなんでも

⑦斜里岳で思ってもいなかつたリンネソウ(別名夫婦花)に出会ったこと。夫婦って根は一つなんやつて思い直しました。

⑧筆影山、山頂の展望台から海側を見下ろした時、眼下の樹木がことごとく、伐採されていること、展望のためとしか思えず「俺たちも生きてるんだ！」って声が出ない樹木の叫びが聞こえるようだった。

⑨自然・百花繚乱

⑩最近は登山から山登り、植物観察に変化しています。(HP やまばか日記)

五石 勉 広報部会

- ①広島市西区 O型
- ②広島市
- ③宮島で植林、植樹の手伝いをしました。この事業は近年回数が減少しています。(年1,2回)宮島と関わる回数を増やしてみたい
- ④広島市の「ハナミズキ」の植樹に参加。植樹したハナミズキに年数回、水遣りをしています
- ⑤PC操作
- ⑥富士山
- ⑧小泉・安倍政権の無責任言動
- ⑨至誠 天に通ず いまだかって、しからざるは無し



奥田 克江 環境整備部会

- ①安芸郡海田町 O型
- ②海田町、江田島市切串に15年
- ③何度も公募自然観察会に参加して、同じ参加するなら、お手伝いしようと思う
- ④地域のボランティア
- ⑤里山めぐり
- ⑥高い山は興味がないので憶えていません
- ⑦日々が感動の連続です
- ⑧色々とあります
- ⑨明るく元気
- ⑩この会に参加して皆様と知り合いになれて、とてもうれしいです。



大成 健太郎 環境整備部会

- ①廿日市市深江 A型
- ②三原市、今治に10年
- ③昨年2月の公募観察会（鷹ノ巣高砲台跡）に参加して、その環境整備に携わりたいと思って
- ⑤日本史（三島村上氏に代表される海賊衆の活動について、マーマレード作り
- ⑥石鎚山(1,982m)
- ⑦昨年、県立大 秋山先生より厳島合戦で討ち死にした陶方武将弘中 隆兼の合戦直前まで妻と娘の行く末を案ずる手紙の話を、お聞きしたとき
- ⑧TVのニュースを見て憤慨することが多く、食事が楽しくないと、家族に総すかんを食らっている。
- ⑨大局着眼 小局着手
- ⑩本会の活動を通じ歴史的事件等の背景が肌で感じることが出来ればと思っています。



山坂 健治 観察部会

- ①庄原市総領町 AB型
- ②三次市出身⇒庄原市⇒総領町
- ③「国立公園の保護と適正利用の推進」の活動に興味を持ったから
- ④町観光ボランティアガイド（セツブンソウ）

- ⑤茶道（裏千家）特技・大酒飲み（自信があります）
- ⑥三瓶山

- ⑦2年前に実を採り育てている「つくばね」が今年も元気に成長している姿を見て

- ⑧家の前の小川に酒の空缶を棄てる人がいる。（家族から私が凝われましたが、いくら酒好きでも、そんなことはしません。）

- ⑨禅語

- ⑩ボランティア活動は嫌いではありませんがあまりにも自然の動植物の名前等を知りませんのでご指導ください。



小林 つとむ 観察部会

- ①佐伯区美鈴が丘 O型
- ②呉市音戸町早瀬
- ③幼い頃よく来た宮島を違う角度から（観光以外）知りたいと思って
- ⑤登山
- ⑥槍ヶ岳(3,180m)
- ⑦映画「不都合な真実」を見て
- ⑧地球温暖化が進んでいること
- ⑩何にでも挑戦したいです



小林 みどり 観察部会

- ①佐伯区美鈴が丘 B型
- ②呉市倉橋町、現住所が長い
- ③宮島をもっと良く知りたいから
- ④森林整備
- ⑤花を見て歩く
- ⑥槍ヶ岳(3,180m)
- ⑦変な冬だったけど花がたくさん咲いたこと
- ⑧小さな低気圧でも竜巻が起きる（地球温暖化の影響が出ていること）
- ⑨自然はエライ



※以下P10、P11に掲載

芽吹く早春の宮島 公募観察会

日 時 3月 25日 (日) 9:00~15:00

集合場所 大元公園

参加者 足立 小方ペア 小川 佐藤 佐渡
新川 末原 高光 中道 弁田 丸平
村上 柳瀬 横路 六重部
田中自然保護官 藤本 A R
P V研修参加 11人 一般公募参加 14人

2日前の天気予報によると開催が危ぶまれたが、当日朝は雨もあがり集合時刻9時半には参加者がほぼ全員集合、開会挨拶等終わり10時出発。今回は一般参加者が少なかったので班分けを行わず、春の大元公園を散策しながら登山道へと進む。一週間前の下見では自然観察しながら樂々と登った道が、本番では湿気と気温上昇で汗の吹き出る苦しいものとなつた。そのせいか大元コースは年々苦で青々となつてきているよう気がする。

一般参加者より遅れて12時過ぎやつと駒が林入り口に着くと爽やかな風が吹き、救われる思いがした。雨上がりで足元の心配もあったが、今後は湿度などによる参加者の体調変化にも注意が必要と身をもって悟つた。

12時半弥山本堂に着き昼食、続いて中道さんから「錫杖の梅」を樹木医が診断した話があった。下山はロープウェイ利用者もいたが



大元公園を出発する参加者

多くは紅葉谷コースを下り、紅葉谷公園では小方P Vの桜の花の解説があり、午後3時無事解散となつた。

なおアクティブレンジャー (A R) 藤本さ

んがこの観察会の様子を環境省の『アクティブルンジャー日記・中国四国地区』に写真付きで綴っておられるのでインターネット可能な方はどうぞ。 (小川 加代)

おおの自然観察の森

日 時 4月 1日 (日) 10:00~15:00

場 所 おおの自然観察の森

参加者 池下 小方 (嗣) 中道 文理 弁田
村上 森川 六重部

この日は雨が途中でポツリポツリ、春の訪れ直前に良く見られる特有の天気で、シーズン前ということもあって園内に人影はまばら。

観察の一番の目的バイカオウレンは針葉樹の林床に咲く花で、ここでは園の奥にある杉の木立のなかを流れる小川の傍で見られた。ありふれた春の草花の一つのように見えたが、



バイカオウレン

いと見つけるのが難しいとか。自分も見るのは初めてで「きれいな白い花」と思いきや、花びらではなく萼と教わる。

当日見られた花には、林床に隠れるように咲いていたシュンラン・イチヤクソウ・サンヨウアオイ・タムシバ・・・春の到来が間近に迫っていることを告げていた。この他ウマノケダケ(ヤマンバ)マムシグサなどを見つける人もおり、先輩諸氏の花や樹木に対する深い知識には、ただただ敬服するばかり、これから先何年したら、この人たちのようになれるだろうかとつくづく考えさせられる一日でもありました。 (文理一男)



初夏の自然観察会

日 時 4月 30 日 (祝振替) 9:00~16:00

参加者 小方 (嗣) 小川 奥田 川崎
 小林 (覇) 佐藤 佐渡 坂本 新川
 高光 富田 前田 (勲) 弁田 村上
 横路 六重部

雨の予報を見事に吹き飛ばして、朝から晴れ、ラッキー、紅葉谷公園ロープウェイ乗場前に集まったPVメンバーは16名、久しぶりに京都から前田(勲)さんが参加。

定刻9:30になり担当幹事の弁田さんから5月6日の公募観察会には36名の参加申し込みがあるので当日は6班に分かれ、それぞれリーダーを決め、準備万端OKとの話があり、9:40出発、六重部、新川さんを中心に「ナンゴクウラシマソウ」「アオテンナンショウ」など色々の植物の話を詳しく聞きながら、ゆっくり登り予定通り12:30弥山本堂前に到着。

食事の前に“錫杖の梅”的回復、蘇生作業について参加された佐藤さんから説明して貰いました。

昼食後13:30大元公園ルートを下山、途中「クロバイ」を探しながら6日には満開であって欲しいと念じました。

15:00大元公園休憩所に全員無事到着、一息ついたところで反省会、弁田さんが用意された観察シートにそって各自が気づいたことを発表、きっと本番の自然観察会に役立つことでしょう。

最後に京都から参加された前田さんの挨拶があり、一度皆で京都の山歩きをしましょうということで、下見会は終わりました。

(佐渡 正幸)

※5月6日の公募観察会は雨天のため
 取り止めとなりました。

錫杖の梅 と不思議な動物

新川 博

4月30日の公募観察会の下見で、靈火堂広場で「錫杖の梅」の手入れの話を聞いた後、梅の樹木の不要な部分を伐った残骸に気がつきました。

古い梅の木には、「ウメノキゴケ」や「オオマツゲゴケ」の地衣類の植物が張り付いていました。そのとき、ウメノキゴケが動いたようなので目を凝らして見ると、確かに1センチくらいのウメノキゴケが動くのです。その動きは、シャクトリムシが這うように見えました。咄嗟に、虫の「擬態」だと思いました。皆んなこの不思議な虫に見入っていました。



シラホシコガヤの幼虫

帰宅後、早速調べてみました。「ウメノキゴケ」「擬態」で検索してみると、「シラホシコガヤ」(ヤガ科) 学名は *Enispa bimaculata* の幼虫であることが分かりました。

成虫の出現は6~7月頃、幼虫の食餌食物は地衣類です。この幼虫は頭部、体躯ともに淡白色ですが、地衣(ウメノキゴケの仲間)で作られた抹茶色の被覆物で体全体を覆っています。勿論、敵から身を隠すためです。3対の三角襞が幼虫の背中に並んでいるのが特徴的です。

体長約10mmで、頭部と胸部をピヨコピヨコと揚げ、変幻自在に体を動かす曲芸師、じっと静止していれば地衣そのものにも見える忍びの名手でもあります。

5月に繭をつくり、成虫は6月ごろから出現します。繭は樹幹などに柄で垂れさがりますが、新たに繭をつくるのではなく、幼虫時代に被っていた地衣の被覆物を吐糸で袋状に改造して使う「僨約家」でもあります。

新入会員紹介

平成19年4月入会(2)

尾川 健 観察部会

- ①広島市佐伯区 O型
- ②4年間の学生生活以外はすべて広島市
- ③同じ新人の富田和子さんに誘われて
- ④広島平和公園、平和資料館のボランティアガイド
- ⑤歴史探訪
- ⑥富士山
- ⑦青木 鈴花ちゃん（入園を許された）の笑顔
- ⑧「ひろしま通」の検定試験
- ⑩奥深い宮島の歴史に触れたいと思っています。



田中 敏子 環境整備部会

- ①広島市西区己斐上 O型
- ②西区南観音、古江地区と現住所が長い
- ③子供の頃より親しんでいる宮島に関わり、何かお役にたてればと思
- ④色々とっています
- ⑤編物、縫い物、山歩き
- ⑥富士山、県内では吉和冠山(1,339m)
- ⑦（今年3月25日）宮島桟橋前の「ベニシダレザクラ」のきれいな色に
- ⑧宮島平松茶屋の所の展望台に茶店を利用しないと行けない事
- ⑩立山を雄山より雷鳥沢への縦走中、大汝山(3,015m)より眺めた黒部ダム湖の美しさに感動しました。これから多くの感動に出会える日々を過ごしたいと思っています。



渋谷 精二 環境整備部会

- ①広島市佐伯区 A B型
- ②香川県、香川県に約40年、北海道に12年
- ③広島へ転居して来て、はじめて登った弥山と紅葉谷の美しさに感動。PVになって、その

◇自己紹介◇アンケート

- ①現在住んでいる所、血液型
- ②出身地、今までに長く住んだ所
- ③PVに応募した動機
- ④他にボランティア活動していますか？
- ⑤趣味、特技など
- ⑥今までに登った一番高い山は？
- ⑦最近何か感動したことがありますか？
- ⑧最近憤慨していることがありますか？
- ⑨好きな言葉
- ⑩その他自己PRなどなんでも

美しさを維持する活動をしようと思い
⑤山歩き、海釣り、サイクリング、写経、インターネット、読書等

- ⑥富士山（高校生の時）
- ⑦正月に弥山山頂から見たご来光の美しさ神々しさ
- ⑧中国や韓国での教科書・竹島・慰安婦・ガス田開発・靖国問題に対する政府・官僚の対応の拙さ、国際感覚の拙劣さ・・・
- ⑨率先垂範・努力
- ⑩宮島を愛する仲間を数多く作りたいと思っています、仲良くして下さい。



富田 和子 広報部会

- ①広島市西区 B型
- ②広島市、東京や長野でスキーのホームステイ
- ③宮島が好きだから
- ④広島観光ガイド他
- ⑤ボタニカルアート
- ⑥槍ヶ岳に3度、昔キリマンジャロの中腹まで
- ⑦北海道・洞東に沈む夕日を飛行機から見ると海に鏡餅のように映っていた。
- ⑧カタコトでも覚えた英語を使ってみようとした時に話しかけたら、スマイルと流暢な日本語で返答されたこと
- ⑨天に星 地に花 人に愛
- ⑩宮島には不思議が詰まっている、研究グループも多い、伝説を語り合いたいものです。



松田 賢 観察部会

- ①安佐南区 八木 O型
- ②大阪府羽曳野市、学生時代松江に6年間それ以外は大阪
- ③転勤を契機に魅力あふれる宮島の自然・文化を身近に感じ、学び、触れながら活動したいと思い
- ④学生時代自然観察指導員補助
- ⑤自然散策、昆虫採集、鳥見、写真、スポーツ、バイク、野球観戦
- ⑥穂高連峰(3,000m級)
- ⑦春先、セツブンソウ、カタクリ、エヒメアヤメの自生地に出かけ、可憐な草花の群生に感動したのはもちろんですが、これらを支える地道な保全活動に頭の下がる思いでした。
- ⑩微力ながら宮島の野生生物・自然やその保全に関する活動をしたいと思っています。



文理 一男 環境整備部会

- ①廿日市市大野 O型
- ②廿日市市 東京に36年
- ③今まで都岳連の自然保護指導員をしており故郷でも何か人の役に立つことをしたいと思い
- ④「おおの自然を愛する会」
- ⑤山歩き、釣り、読書
- ⑥富士山
- ⑦40年ぶりの帰郷にもかかわらず日々多くの人たちとの出会いがあること
- ⑧東京近郷の林道は不法投棄のゴミの山だったが故郷でも同様だったこと、目の前の一つひとつから片付けていきたいと考えています。
- ⑨“努力こそ”



山形 妙子 広報部会

- ①広島市中区 B型
- ②鳥取県日野郡日南町(庄原の隣です)
- ③広島で暮らすに当たり、宮島というフィールドから広島の自然や歴史を学んでいきたいと

思って

- ⑤カラオケ、写真
- ⑥野呂山(呉でなく地元の小さい山)
- ⑦友人の結婚式です。幸せな人を見ると感動します。
- ⑨laugh at yourself and at life (笑い飛ばして行きましょう)
- ⑩勘も経験も皆さんには負けますが、若さと体力でPボランティア活動に参加します。



坂本 俊弘 観察部会

- ①佐伯区屋代 A型
- ②大連市(中国)引き揚げからは広島市
- ③宮島のことをもっと知りたいと思い
- ④広島市植物公園
- ⑤囲碁、山歩き
- ⑥富士山
- ⑦ソメイヨシノの生い立ち
- ⑧宮島のシカが多くて、不潔、不躾
- ⑨一心同体(夫婦)



河野 浩一 観察部会

- ①西区観音新町 A型
- ②大阪出身、愛媛14年、東京9年、神戸他
- ③宮島の生物をもっと知りたくて
- ⑤射撃、旅行(チベット方面)今は、やっていませんがスキーバダイビング
- ⑥車で通っただけですがチベットのランチエン・ラ(峠)5,132mで最高地点です。
- ⑦広島の島々を巡っていますが、景色の良い所が多く感動しています。
- ⑩最近色々忙しく、なかなか参加できないかも知れませんがよろしくお願いします。



(12)

みせん

“ミヤジマトンボ”

生息地の環境整備・清掃

第2回 3月4日(日)

(参加者) 小方ペア 佐藤 末原 中道
中本 名越 平田 弁田 村上 柳瀬
横路 六重部

広島事務所 藤本自然保護官補佐(AR)

第3回 3月6日(火)

(参加者) 池下 近藤 佐藤 竹内 中道
中本 平山 弁田 村上 森 柳瀬
六重部 広島事務所 田中自然保護官
両日とも広大植物実験所の向井さん、環境



保健協会の上田さん等々参加。

出発は午前9時、大野塙屋漁港より出航。
3月4日 ミヤジマトンボ生息地に上陸。ゴミの多いこと。カキ筏を離れたドラム缶ほどの発泡スチロールの固まり他、浮遊物の数々。ゴミ収集の後、ため池(湿地)から約10m溝を掘り海とつなぎ汽水池とする。

丁度大潮の満潮、潮は湿地へ流れ。10時半すぎ海へと流出。

これでミヤジマトンボが生まれてくれたらと皆の期待大、汗が心地よい。

午後からは別の生息地に移動。

2月の第1回で清掃は済んでおり、本日は汽水池に風で砂が入らないよう高さ50cmほどの土手を造る。

3月6日 2班に分れ1班は3月4日の続き、未完成の土手造り。PV

会員6名で、スコップを使い砂で土盛りをし高さを1m位にする。2班は大川浦でゴミ収集。

この日の寒かったことは格別で、特に船上では寒風と船の揺れで身の危険を感じた人もいたようで忘れえぬ思い出となりました。

(佐藤 庸夫)

岩船岳登頂・観察会

豊原先生(元広大)と一緒に

日時 3月10日(土) 8:00~17:00

参加者 足立 岩崎 小川 近藤 佐藤
佐渡 島 高光 中道 野呂田 平山
古川 弁田 村上 森 横路
田中自然保護官

今年の岩船岳登頂は元広大植物実験所豊原先生と一緒に植物観察会を兼ねることになった、特に宮島では珍しいコウヤマキが岩船の頂上付近に群落をなしており、その樹を訪ねる楽しみもある。

9時に奥の院近くの登山口を出発し、高安ヶ原の尾根に向かう。アラカシやウラジロガシの原生林を登ると、茶色の落ち葉が覆う地面に、シダやシノブの緑が映える。尾根の少し手前のイスノキにたどり着く、落ち葉のツノ状突起物に驚く。その近くにはアカガシの大樹がある。弥山本堂近くの空洞(ウロ)があるアカガシの古樹に匹敵する幹周で、枝葉も茂り、堂々とした姿は壯観である。↗



標高 300m近くの尾根筋の道では、海岸近くに生えるヒメユズリハなども混じる。

岩船岳頂上手前のコシダやウラジロの茂る急坂を、時々ロープを頼りに喘ぎながら登ると、頂上の少し手前のヒノキ林の中に、目指す「コウヤマキ」の枝が見えた、イヌマキより葉が細く、樹皮はヒノキとの見分けが難しい。「コウヤマキ」は日本固有種で、成長はやや遅いが、腐り難く、高野六木（ヒノキ、スギ、ツガ、モミ、アカマツ、コウヤマキ）の一つである。周囲の地面には雅樹が見られ、シカの食害に会うことなく大樹に育つことを願う。

岩船の頂上で昼食後、小雨模様になってきたので早めに大川浦へ向かって下山する。途中でシロバイの群生地を通る。室浜海岸のイワタイゲキも花芽が少し目立ち始めていた。

帰路を少し急いだこともあり予定より早く16 時に観察会を終えた。 (横路 晃)

解説 生物多様性国家戦略

日本の生物多様性の保全と持続的利用に関する基本方針。1995 年に策定された「生物多様性国家戦略」の、2002 年改訂版。1995 年に「地球環境保全に関する関係閣僚会議」で決定された生物多様性国家戦略は、生物多様性条約発効から 2 年足らずで策定され、生物多様性の保全、持続可能な利用を促す上で一定の役割を果たした。

改定にあたっては、目標達成へのプロセスを明確にするため、社会経済的な視点、セクター間の協調を考慮し、「自然と共生する社会」へ向けたトータルプランと位置づけ、より包括的な戦略が策定された。

アジア各国をも視野に入れ、海域をも対象に含めた自然環境に関する施策全体を述べたものとなっている。新・生物多様性国家戦略では大きな柱として、

- (1) 新たな脅威に対する「保全の強化」
- (2) すでに失われた「自然再生」
- (3) 社会的なアプローチの積極的推進による「持続可能な利用」

の奨励の 3 点があげられている。

登山道・遊歩道

宮島弥山原始林の植物

平成 14 年に当会が編纂発行した「弥山原始林の植物マップ」について、改訂版を発行することになり、近く作業チームを設ける予定です。その前に宮島詰所にマップを掲示しておきますから、会員の皆様、気づいたことがあればどんなことでも備え付けノートに記入してください。改訂版は大聖院登山ルートが復旧する頃、発行の予定です。

◇ 編集後記 ◇

▼新会員 18 名の加入で一段とパワーアップが期待されるが、恒例の自己紹介によると血液型O型の人が 44%、従来からの会員も 47% と日本人平均 27% と比べると非常に多い、単なる偶然なのか、O型とボランティア適性に関係あるのか興味ある数字である。▼セブン・イレブンみどりの基金助成が決まった。P V 会員の常日頃、地道な活動とたゆみない努力が認められたものと理解したい。これからも有益な活動を続け、着実に成果をあげていきたいものです。 (足立)

「みせん」次号発行予定

発行日 9月1日 第 29 号

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 2 号館 6 階

TEL(082)223-7450 · FAX(082)223-7451

宮島詰所

(〒739-0505)廿日市市宮島町 1162-18
(宮島桟橋 2 F)